



旭ヶ丘公園に しだれ桜3本を植樹

芦別120周年・市制施行60周年記念植樹が10月30日、旭ヶ丘公園(はなの丘)で行われました。

記念植樹式には、市内各小・中学校の校長と児童会長、生徒会長のほか、花と木・緑化推進基金寄付者2団体の代表らが参加しました。

植樹式の冒頭、清澤市長は、「今後百年たっても素晴らしい花が咲くことを願うと同時に、この素晴らしいふるさと芦別を皆で守り育ててください」とあいさつ。市内中心部を見渡せる公園花壇の中央部に、高さ5mと3mのしだれ桜計3本が植えられました。

また、記念碑の除幕も行われ、桜の名所として名高い旭ヶ丘公園にまた一つ見どころが加わりました。



新たなカントリーサインづくりへ向け 市のイメージを表す言葉を募集します

「芦別120周年・市制施行60周年」を記念し、カントリーサインを見直すこととしました。そこで、新たなカントリーサインをデザインする上で、市のイメージ(キーワード)を広く市民の皆様から募集します。

カントリーサインとは

市町村との境界に設置される標識で、市の名物などを掲げているのが特徴です。

現在、芦別市のカントリーサインのデザインは、「ラベンダー畑の星と赤毛のアン」=写真=がイメージされ、国道3か所、道道4か所に設置されています。



○応募要領

募集するもの	芦別をイメージする「キーワード」
募集期間	12月2日(月)～12月27日(金)
提出様式	様式の指定はありません
提出方法	政策推進課政策推進係へ郵送、ファクシミリ、電子メールのいずれかで提出してください
今後の進め方	応募された「キーワード」をもとに数点のデザインを作成した後、デザインを公表し、市民投票を行い新しいカントリーサインを決定する予定です

●提出先・詳細

芦別市役所政策推進課政策推進係

〒075-8711 芦別市北1条東1丁目3番地

☎22-2111 ファクシミリ22-9696

電子メール seisaku@city.ashibetsu.hokkaido.jp

11月11日、男女共同参画推進協議会の9人の方々に市長はじめ特別職などの職務を体験していただきました



指揮者先頭

指揮者先頭とは、「指揮者は常に皆の先頭に立って行動する必要がある。」という意味で、私が考えた大切にしてほしい言葉です。

No. 18

寒さが一段と厳しくなってきました。市民の皆様方におかれましては、体調管理は万全でしょうか？ 風邪やインフルエンザ等々に十分ご留意ください。

さて、10月から11月にかけて三つの小学校の閉校式典が多くの関係者が出席し執り行

われしました。それぞれの学校の歴史は、きつと永遠に輝き続けることと信じています。11月には多くの懸案事項の解決のために道内外を駆け廻りました、中でも11月21日と22日には、市・市議会・商工会議所が一体となり、国道452号早期開通のための要望活動を行ってきました。三者でこの種の要望活動するのはおそらく初めてのことと思いますが、今後も連携を密にしながら各種課題解決に向けて歩みを進めていくつもりです。

何かと気ぜわしい「師走」ではありますが、皆様方にはご家族共々健やかな新年をお迎えくださいますよう、心よりご祈念申し上げます。

芦別市長 清澤 茂宏

(平成25年11月25日)